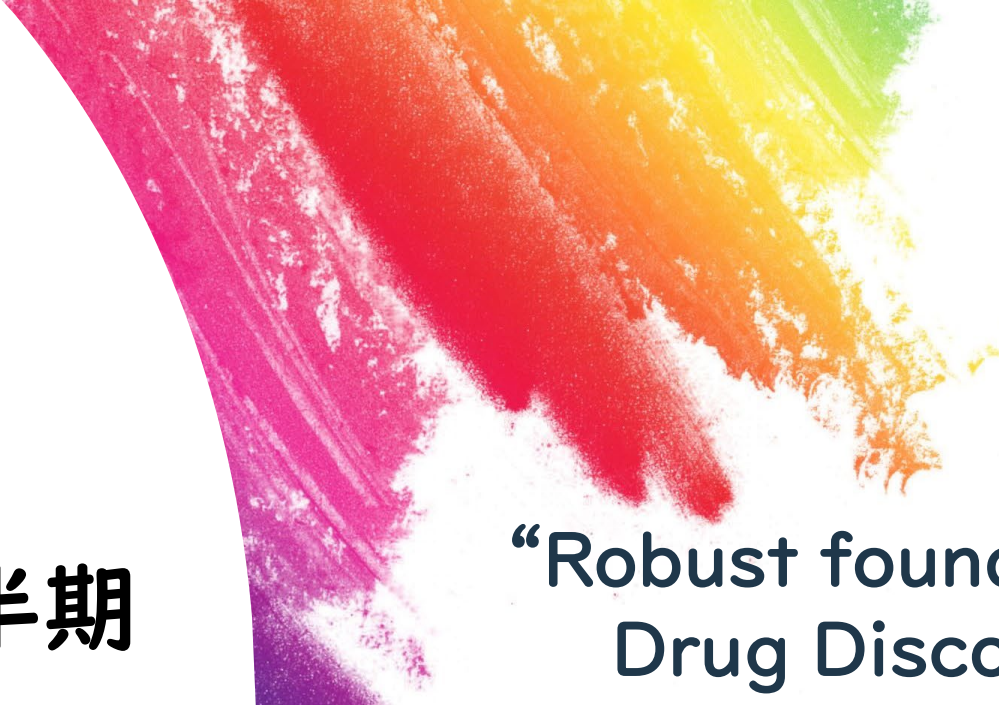


東証グロース
4571

2026年3月期第2四半期 決算説明会

NANO MRNA 株式会社

2025年11月18日(火)



“Robust foundation for
Drug Discovery Concert”



INDEX



1. 事業進捗

代表取締役社長 秋永士朗

2. 決算概要および事業計画

執行役員CFO 藤本浩治

3. NANOホールディングスの戦略

代表取締役会長 松村淳

Global leader for “mRNA for health”

NANO MRNA 1.0から2.0へ



事業進捗

代表取締役社長 秋永士朗

初期臨床試験の加速

POC/POPAの早期取得

- ◆ TUGI ASO
- ◆ RUNXI mRNA

DDSプラットフォーム技術

YBCポリマー・ナノミセルの
価値最大化

GMP製造可能な企業との
パートナーシップ



mRNA創薬

組織再生・ワクチンから新規モダリ
ティへのシフト

mRNAエンコード抗体、ゲノム編集、
In vivo CAR-T療法等

がん治療に再Focus

TUGI follower

PRDMI 4 follower

(新規オリゴ核酸 + YBC)

開発品目	疾患	シード	非臨床			臨床PI	パートナー
TUG I ASO	膠芽腫					Phase I終了	名古屋大学 
RUNX I mRNA 	変形性膝関節症					First Patient-in	東京科学大  CiCLE
mRNA (眼科)	眼科疾患						SENJU
mRNA (免疫寛容)	免疫・アレルギー						KAO
TUG I ASO successor	固形がん						名古屋大学
PRDM I 4 siRNA successor	固形がん						金沢大学  
mRNAエンコード抗体	固形がん	新規					
Genome Edition mRNA	遺伝子転座を有するがん						非開示

TUG1 ASO:再発膠芽腫での第I相臨床試験 患者登録を終了



主要評価項目: 安全性、忍容性、最大耐量
副次評価項目: 有効性(奏効率、奏効期間、PFS、OS)、薬物動態
患者登録開始: 2024年2月
患者登録終了: 2025年10月
実施施設: 名古屋大学病院、京都大学病院、国立がん研究センター中央病院

- 最終の投与用量レベルとなる第4段階において2例の用量規定毒性が発現し本試験への被検者登録は完了
- 第43回日本脳腫瘍学会(2025年12月7-9日)で名古屋大学病院・斎藤竜太教授がレベル3までの試験結果について報告を予定。全試験結果に関しては2026年前半の国際学会への投稿準備開始
- 2026年度開始予定の複数用量の新たなPhase Ib試験の試験実施計画書を策定中

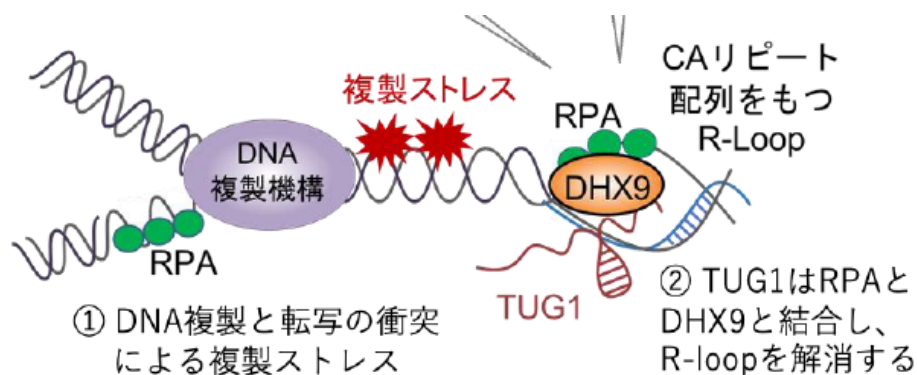
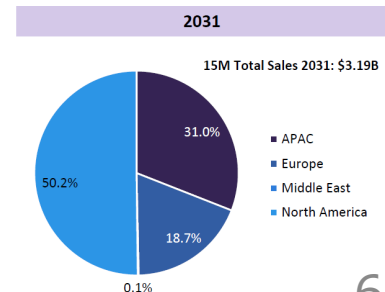
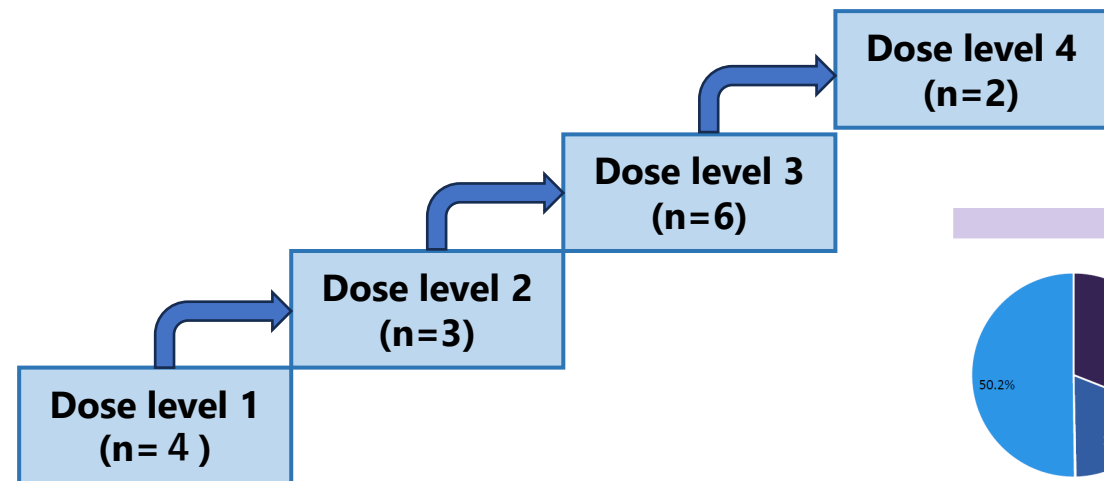


図2 複製ストレスによって発現上昇するTUG1はR-loopを解消する



RUNX1 mRNA:変形性膝関節症での第Ⅰ相試験 豪州での治験開始

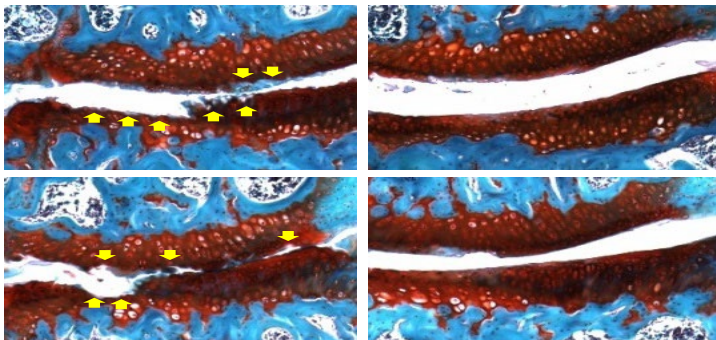


対象患者: 全人工膝関節置換術を予定する変形性膝関節症患者
主要評価項目: 安全性、忍容性
探索的評価項目: 軟骨形成に関連するバイオマーカーの解析
試験デザイン: 用量漸増試験(関節腔内投与)
治験開始: 2025年11月
実施施設: Royal Adelaide Hospital

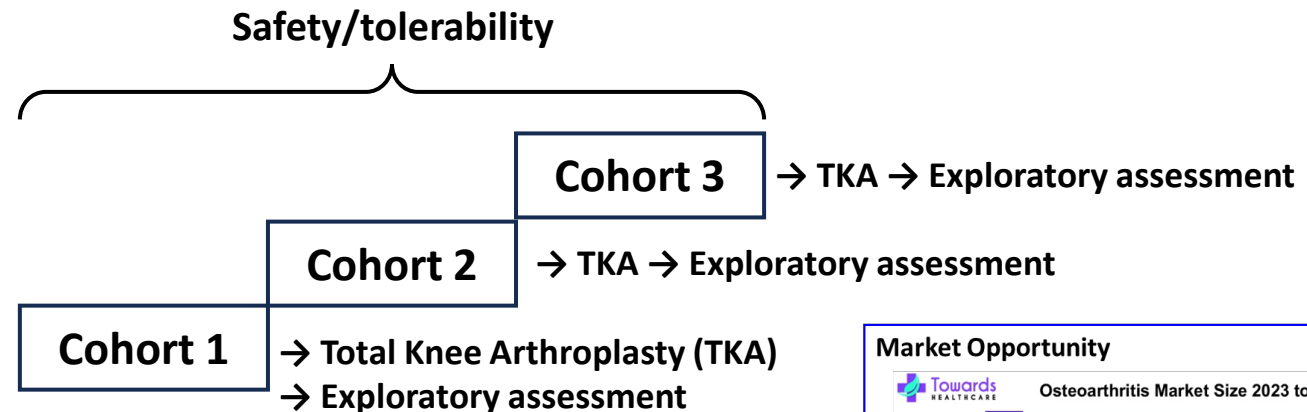
RUNX1 mRNA治療後の膝軟骨組織像

対照群

RUNX1 mRNA投与群



対照群では関節軟骨表面のめくれ・変性・摩耗が認められる一方、RUNX1 mRNA投与群では、抑制されている



- 国内ベストパートナーとの協業
カイオムバイオサイエンス（抗体）
X社（CAR-T）
Y社（特許性のあるLNP保有）

-
- An illustration of a human torso from the waist up, rendered in a light blue, translucent style. A large, circular, multi-colored (yellow, green, blue) ring is positioned over the abdominal area. Inside this ring is a red and blue DNA double helix. To the left of the torso, a large, detailed syringe is shown, with its needle pointing towards the abdominal area. The syringe is silver and has a large plunger. The background is a solid light gray.

8

POCを確立しつつある新規分子標的に対するオリゴ核酸医薬の価値最大化

新規核酸医薬とYBCポリマーの組み合わせで適応拡大を目指す

1) TUGIASO/YBC Successor

令和6年度 「次世代がん医療加速化研究事業」 研究領域B（異分野融合システム）

B-1 応用研究フェーズ

「膵臓がんに対する核酸医薬の効果的送達に関する研究開発」（名古屋大学教授・近藤 豊）

令和4-6年度、令和6-8年度と2期連続採択

リガンド核酸とYBCポリマー複合体のすい臓がん等での研究開発

2) PRDMI4siRNA/YBC Successor

次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業（RNA標的創薬技術開発）

（令和3年度開始～令和7年度終了予定課題）新規RNA標的医薬品の研究開発

「新規修飾siRNAと核酸デリバリーの最適化による難治性卵巣がん治療に関する研究開発」

（金沢大学・がん進展研究所・教授谷口 博昭）

Global leader for “mRNA for health”



2026年3月期 第2四半期決算概要
2026年3月期 修正事業計画

執行役員CFO 藤本浩治

1. SBI証券からの資金調達により、年度末のB/Sの改善
33億円(9月末)の資産が55億円以上に
2. 売上高が106%の上方修正
コムレクスが順調に販売を伸ばしている
3. 通期の赤字増大は、今後見込まれる必要なコスト
M&Aトランザクション費用(確定費用ではないものを予備費として計上)

2026年3月期第2四半期 連結損益計算書



(単位:百万円)	2025年3月期 中間期実績累計 (連結)	2026年3月期 中間期実績累計 (連結)	前年同期比 増減
売上高	7	41	33
売上原価、販売費及び一般管理費	381	440	58
内、研究開発費	172	213	41
営業損失(△)	(373)	(399)	(25)
営業外損益(ネット)	(8)	14	23
経常損失(△)	(382)	(384)	(2)
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	(518)	(440)	78

2026年3月期第2四半期 連結貸借対照表



(単位:百万円)		前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	前期末 増減
資産		3,996	3,377	(619)
	現金預金	1,707	974	(732)
	有価証券(運用債権)	1,798	1,699	(98)
	その他資産	491	703	212
負債		1,257	742	(514)
	転換社債型新株予約権付社債	540	—	(540)
	その他負債	716	742	26
純資産		2,739	2,634	(105)
	資本金及び資本剰余金	5,713	5,901	188
	利益剰余金	(2,986)	(3,427)	(440)
	その他包括利益累計額	(2)	160	162
	新株予約権	15	—	(15)

前期末増減

現金預金：転換社債型新株予約権付社債の償還および新株予約権付社債の取得による減少

その他資産：RS発行による前払費用等の増加

※10月の私募債発行により、手許流動性は約25億円増加

(単位：百万円)	2025年3月期 実績累計 (連結)	2026年3月期 期初年度計画 (連結)	2026年3月期 修正年度見込 (連結)	増減額 (対期初)
売上高	108	75	156	80
売上原価、販売費及び一般管理費	(863)	1,041	1,216	175
内、研究開発費	422	649	640	(9)
営業損失	(755)	(966)	(1,060)	(94)
経常損失	(687)	(856)	(1,002)	(145)
親会社株主に帰属する当期純損失	(835)	(860)	(1,061)	(200)

2026年3月期修正年度見込(連結)

売上高：コムレクス売上の増加

販売費及び一般管理費：M&A等に伴うランザクション費用見込の計上

投資事業へ参入
ヘルスケア領域におけるコングロマリッド



NANOホールディングスの戦略

代表取締役会長 松村淳

ホールディングス体制に移行予定

NANO

2025年12月11日付で商号変更予定

NANO MRNA から

NANO
HOLDINGS

(東証グロース 4571)

4月1日 新設子会社

NANO MRNA株式会社

RNA創薬事業は、傘下企業に位置付け

12月 新設子会社

Nano Bridge Investment株式会社

SBI新生企業投資と共同でファンドを運営
HD傘下企業へ資金投入

Strategic Investment Holding Company

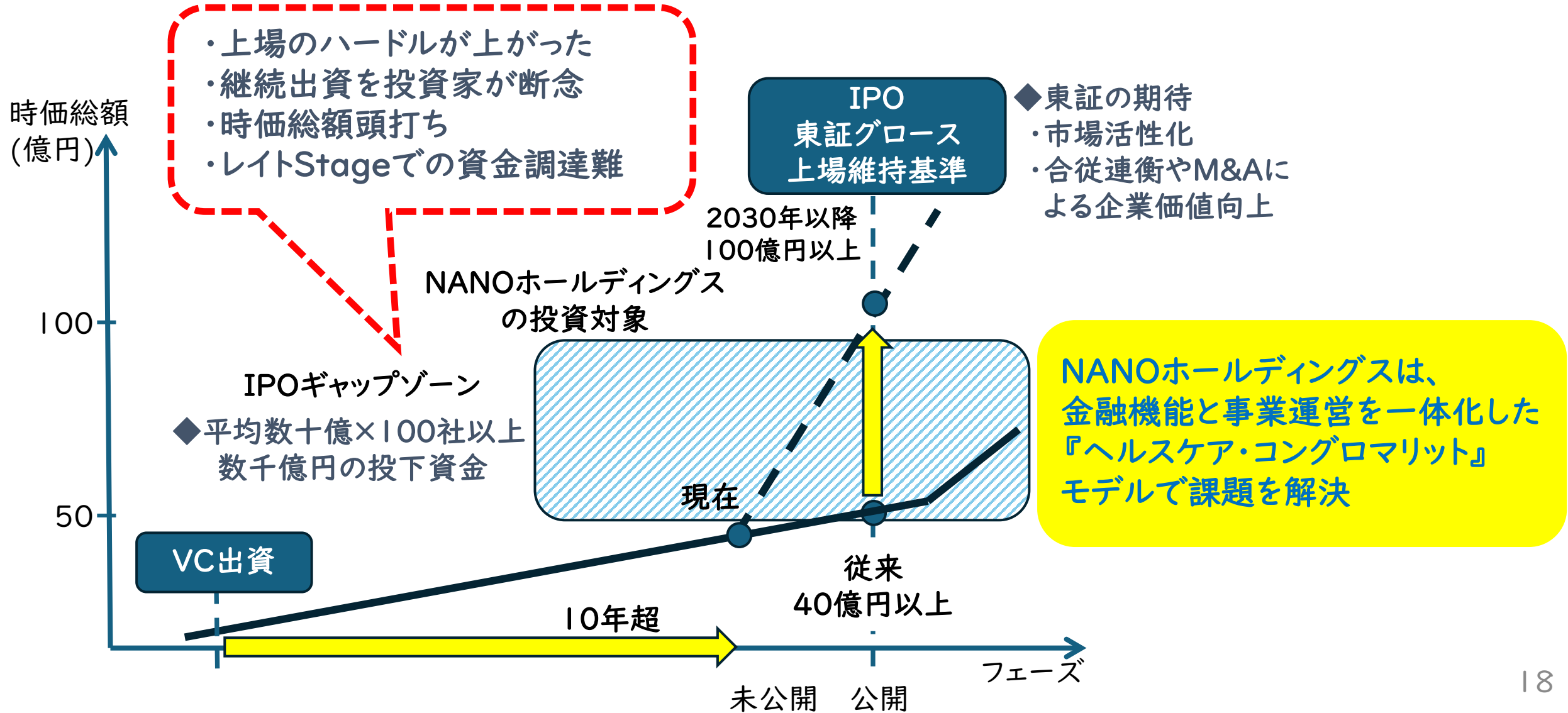
ファンドと株式を組み合わせる企業買収をし、
買収した企業の価値を高め、
IPOなどにより利益を出し当社企業価値を高めるモデルを採用

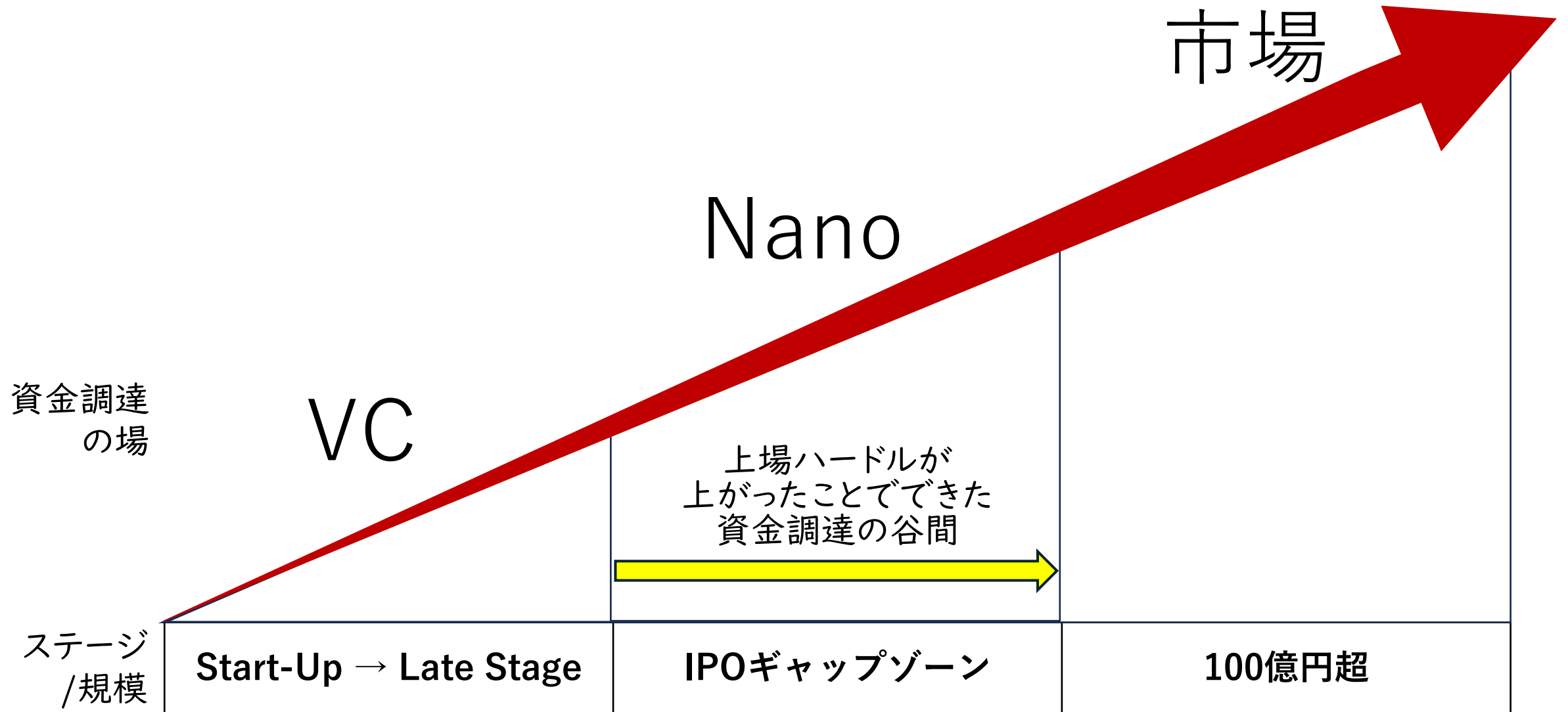
【分かりやすい例え】

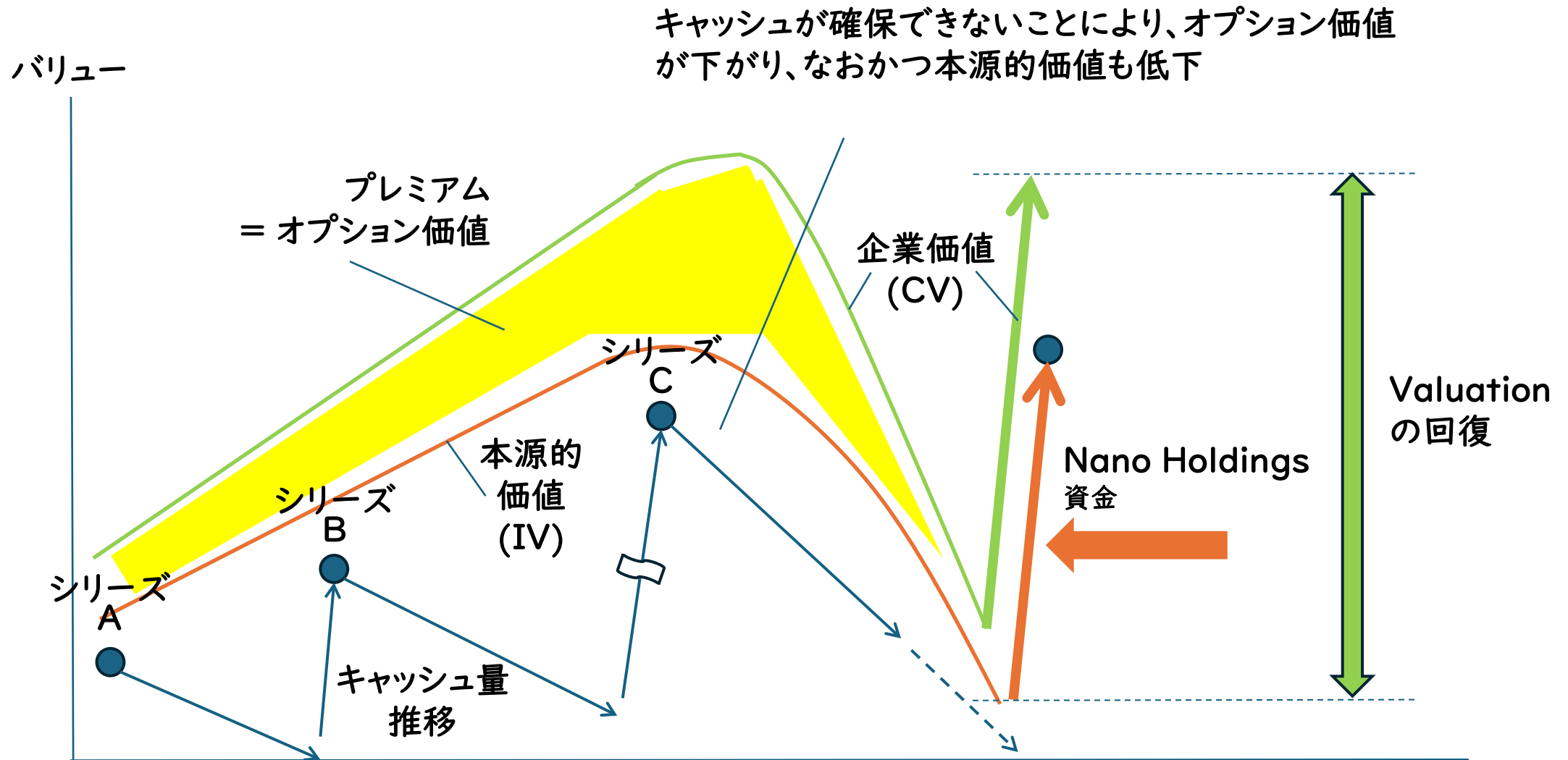
SBI	= 金融のコングロマリット（投資・証券・銀行・保険を統合）
ソフトバンク	= AIのコングロマリット（投資・AI・通信を統合）
NANOホールディングス	= ヘルスケアのコングロマリット（投資・創薬・診断・医療機器を統合）

投資先 (IPOギャップ)

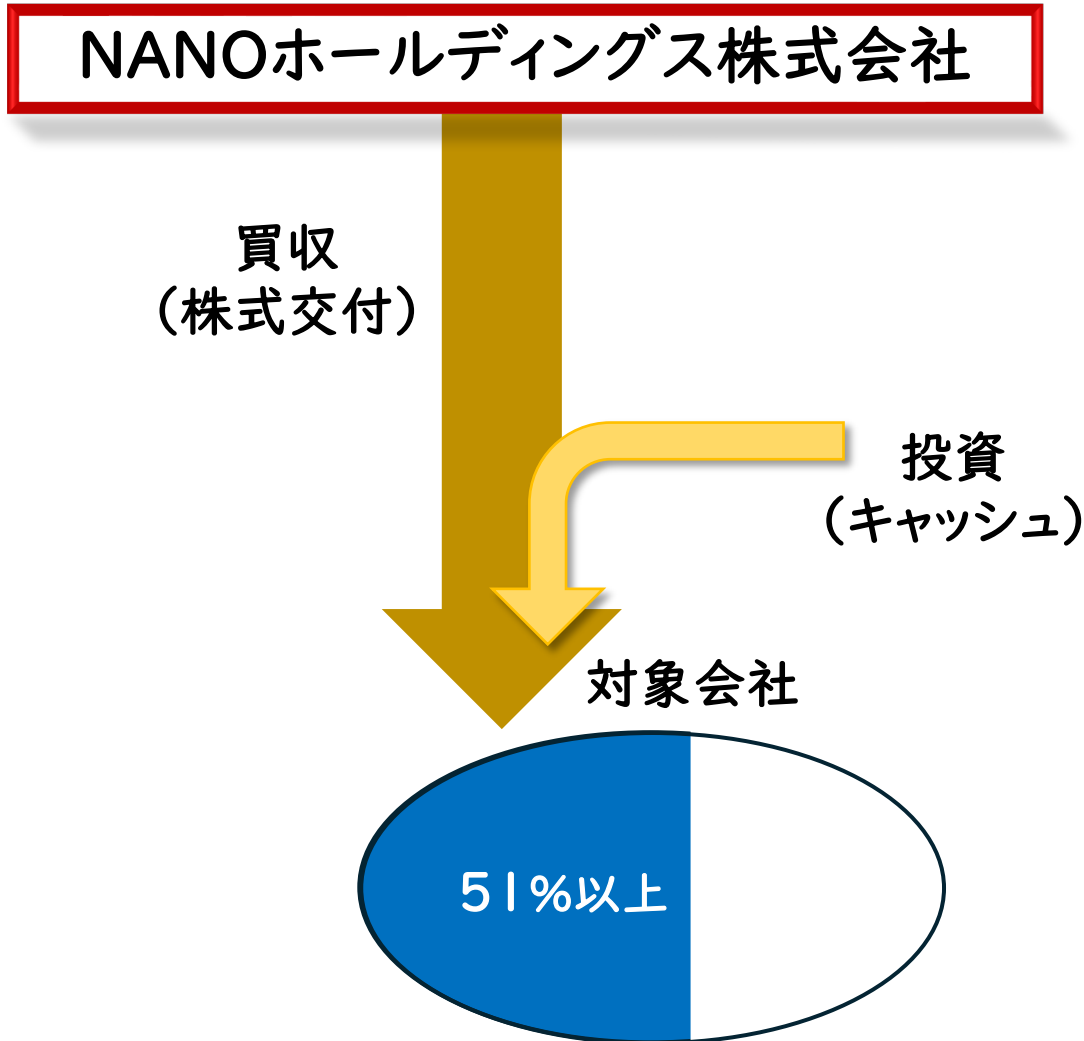
日本のバイオベンチャー業界は、資金調達や事業化の面で多くの課題を抱えています。







NANOホールディングスは株式交付により未公開企業を買収し、ファンドからその企業に資金を支援します。



NANOホールディングス子会社 (25年12月創設)

Nano Bridge Investment (NBI)

Co-GP

NBI

SCI

NBI-SCI

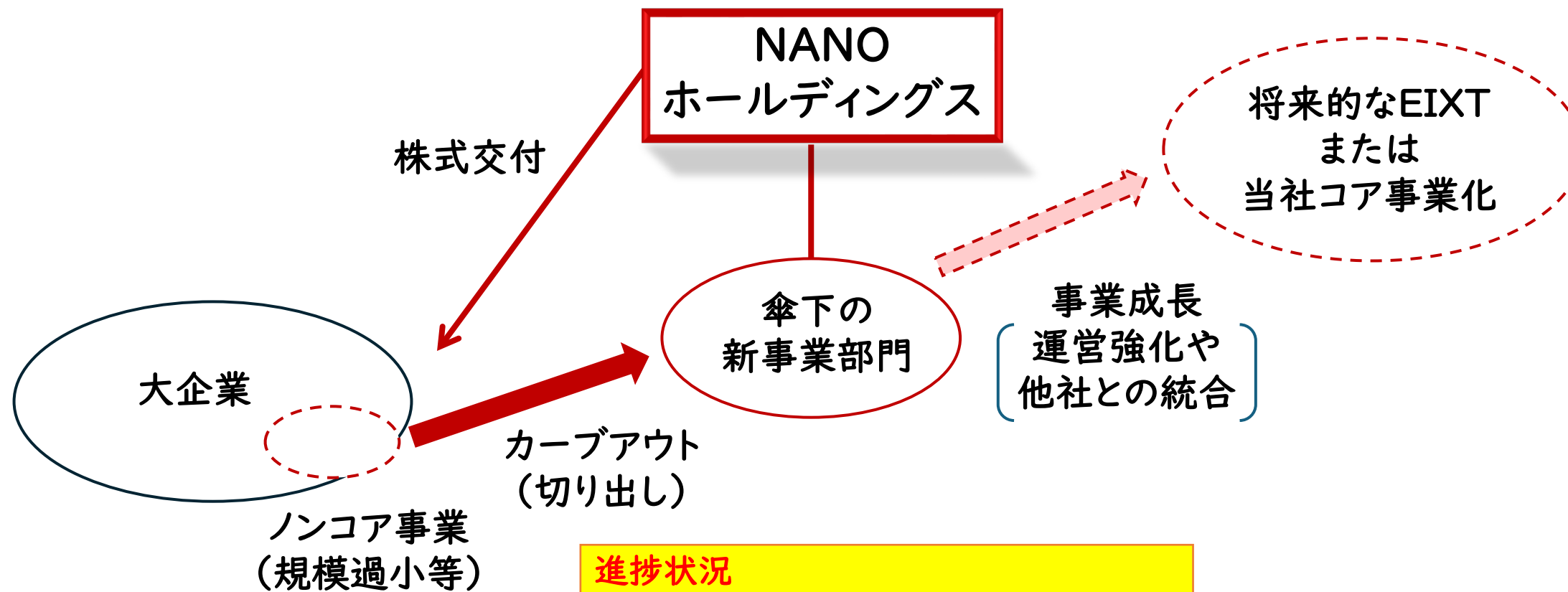
ファンドI号投資事業有限責任組合

※SCI:SBI新生企業投資

GP (General Partner)

ファンドの投資戦略を立案し、投資を実行・管理を担う投資家

研究開発の成果が眠る企業の優れた技術や事業候補をカーブアウトし、ヘルスケア領域との融合で成長を加速します。



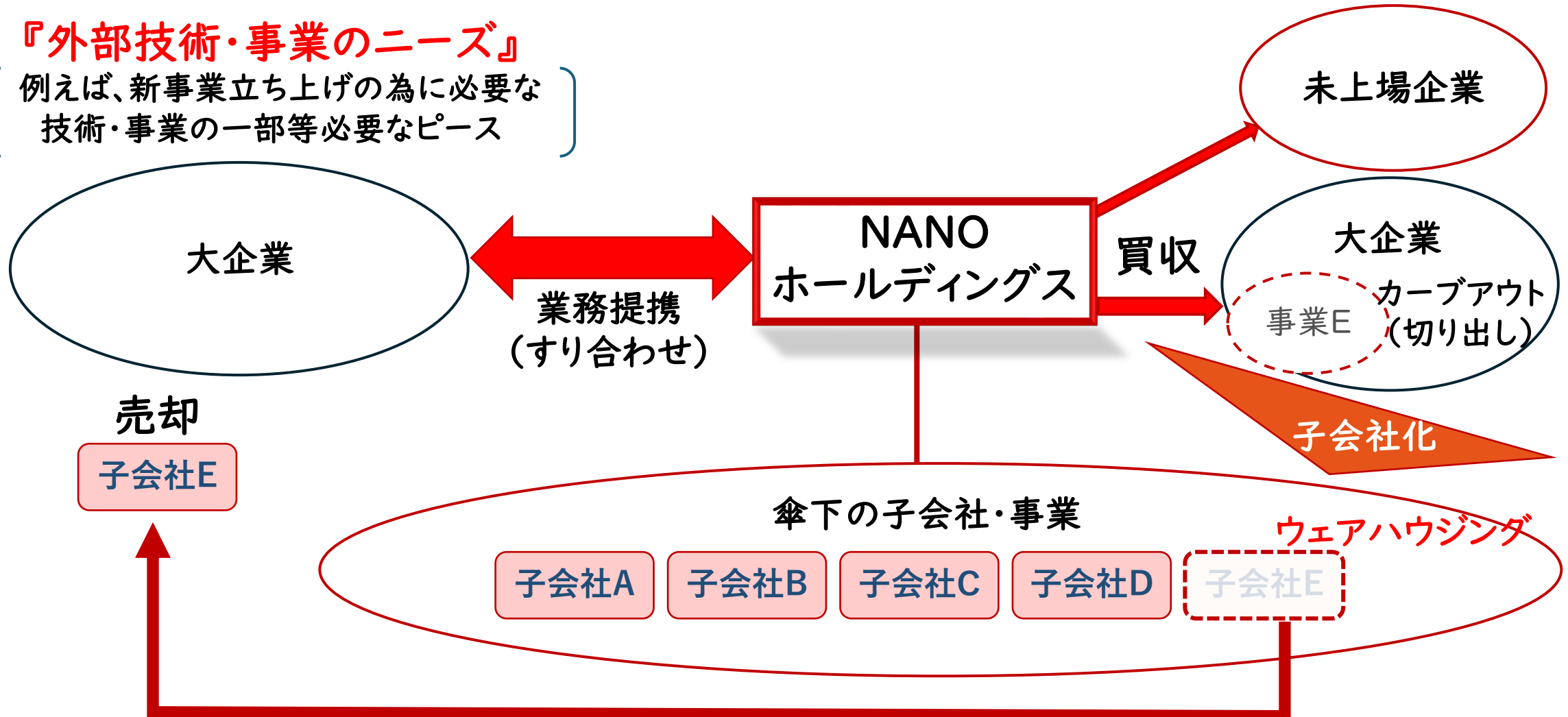
進捗状況

国内外の複数の大企業とNDA締結済み

企業のニーズに応じた企業や新技術を買収し、ウェアハウジング後に売却。

『外部技術・事業のニーズ』

例えば、新事業立ち上げの為に必要な
技術・事業の一部等必要なピース



1. 投資先ソーシング

SBIは日本最大の未公開企業へのアクセスネットワークを保有

SBIインベストメント/SBI新生企業投資の持つポートフォリオ企業
SBI証券がコンタクトするIPO候補企業群 } 当社の投資候補先

2. Exit戦略

投資先企業のIPO並びに売却等、投資と同時に出口戦略をSBIと推進

3. ファンドレイズ

SBIからの紹介によるファンド投資家の拡大

進捗状況

- ✓ ロングリスト作成中
- ✓ 複数の企業とNDA締結済み
- ✓ 複数の企業と買収交渉中

経験豊富なチームが投資先企業の成長を支援します。

投資事業を率いるキーパーソン
チーフインベストメントオフィサー (CIO)
飯野 智

国内外で豊富な実績を持つファンドマネージャーで、新設する投資会社「NBI」の代表取締役社長に就任します。

ベンチャーキャピタル (VC) およびプライベート・エクイティ (PE) 業界で25年以上の経験を持ち、数々の成長企業への投資を成功に導いてきました。

日立製作所での海外技術提携、CSKベンチャーキャピタルでのバイオベンチャー創業期支援、ウィズ・パートナーズでの上場企業のバリューアップなど、国内外の投資ネットワークと実績を兼ね備えています。

成長戦略を担うキーパーソン
チーフグロースオフィサー (CGO)
富所 伸広

投資先企業のバリューアップとカーブアウト戦略を中心に担当し、将来的に投資領域をヘルスケア以外にも拡大を目指します。

日東電工で代表取締役専務を務め、ディスプレイ材料事業を数億円規模から数千億円規模の主力事業へと成長させた立役者です。

業界の成熟期にも、技術革新・構造改革・サプライチェーンとの協業などを通じて、高収益を維持する戦略的経営を実践してきました。今もなおグローバルなネットワークを有し、加えて、創薬CRO「アクセリード」の元CEOとしても製薬業界にも精通しています。

創業者
チーフ・ネットワーク・オフィサー (CNO)
中富 一郎

広範なネットワークと経験で、当社の成長戦略を支える重要な役割を担います。

米国NASDAQと東証マザーズでのIPO経験を持つ創業者。企業理念の浸透と投資判断において、投資家視点と経営者視点を兼ね備えたリーダーです。

製薬業界のトップとの強力なネットワークを活かし、当社および投資先企業の事業成長と企業価値向上に貢献。

また、国際ライセンス協会 (LESI) 会長として、6,500名以上の知財専門家を束ねるなど、グローバルな知財ネットワークと事業開発経験を有しています。

Nano HDが株式交付で51%以上を取得する企業への投資

ヘルスケアVenture

- POC有り
- Late~Pre-IPOステージ

Carve Out

- 大企業からのカーブアウト
- 売上20億~100億円程度

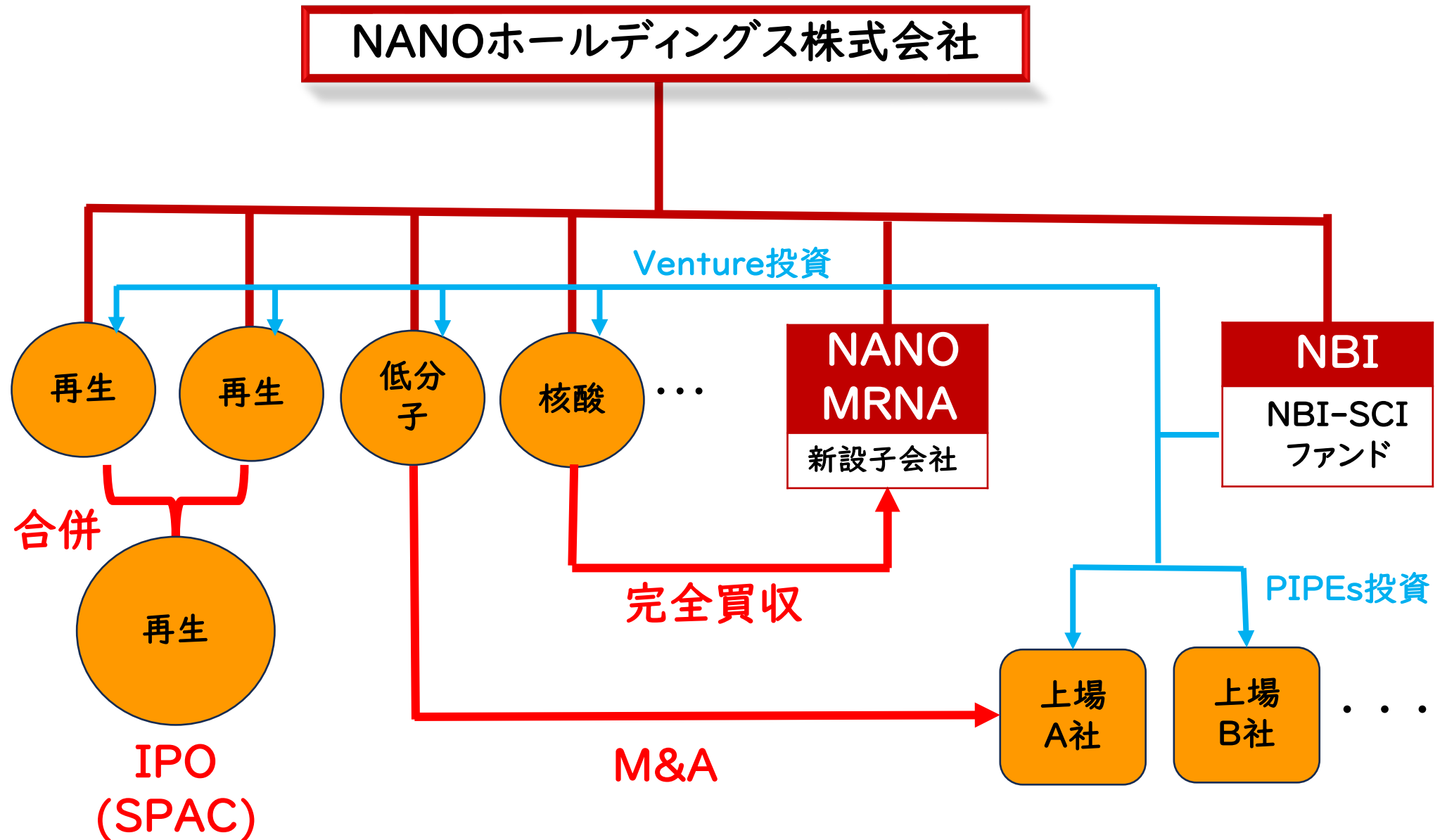
NBIファンドから直接投資

PIPEs

- Small Cap(時価総額100億円未満)の上場企業

Corner Stone

- IPOにおけるCorner Stone投資、Crossover投資への期待の高まりによる投資機会
- NANO社の経験知を提供し企業価値向上を支援
- 1社当たり1-2億円



運用資産規模:300億円程度

初期ファンドの形成と戦略的投資の開始により、安定した資産基盤を構築

ポートフォリオ企業数:10社程度

RNA創薬、再生医療、AI創薬など重点分野における有望企業への集中投資

IPO創出およびM&A EXIT企業数:1~2社程度

早期成長企業の支援により、初期のIPO事例を創出

国が目指す創薬エコシステムの実現をアンカーインベスターとして支援

当社時価総額目標:500-1000億円

投資回収と事業収益の両面で、持続可能な成長を目指す

1. RUNX1 mRNA

- ◆ オーストラリアで、変形性膝関節症を対象とした患者投与開始（年内）

2. TUG1 ASO

- ◆ Phase Iは患者登録完了。途中経過を脳腫瘍学会（2025年12月9日）で発表

3. SBIとの業務提携とホールディングス体制への移行

- ◆ SBIとの提携により投資事業への参入、NANOホールディングス株式会社への商号変更を予定
- ◆ SBI証券からのファイナンスの進捗

4. M&Aの進捗

- ◆ 年間3-4件程度

5. Carve out戦略の進捗

- ◆ 大企業との戦略的提携

6. NBI-SCIのファンドの進捗



ありがとうございました

本資料には、当社の事業及び展望に関する将来見通しが含まれておりますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している予想とは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

また、医薬品（開発品）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

NANO MRNA株式会社 コーポレートコミュニケーション部 03-6432-4791